

令和5年度第1回豊能町立図書館協議会 会議報告

1	会議の名称	令和5年度第1回豊能町立図書館協議会
2	開催日時	令和5年5月26日(金) 10時30分～12時10分
3	開催場所	豊能町立図書館 集会室
4	事務局	生涯学習課図書館
5	出席者	<p>委員</p> <p>石塚 謙二委員 金井 理枝子委員 田中 未知委員 松島 康郎委員 宗像 亮委員 藪田 昇太郎委員</p> <p>事務局</p> <p>生涯学習課長 千歳 あや乃 図書館長 藤木 裕美 図書館主査 南 正好 図書館主査 大和田 英臣 図書館主事 梅田 建都</p>
	会議の次第	<p>1. 生涯学習課長挨拶</p> <p>2. 任命状交付と委員紹介</p> <p>3. 議題</p> <p>1) 会長・副会長の選出</p> <p>2) 今期の図書館協議会について コロナ禍以降の豊能町立図書館のあり方について</p> <p>3) その他(報告)</p> <p>㊦令和4年度図書館利用状況について</p> <p>㊧令和5年度豊能町立図書館の運営について</p> <p>4. 連絡事項</p>
7	審議等の要点	別紙のとおり
8	報告者	豊能町教育委員会 こども未来部 生涯学習課 図書館 南 正好

令和5年度第1回豊能町立図書館協議会 要点
(令和5年5月26日(金)開催)

挨拶 (生涯学習課長挨拶)

開会 開会の宣言と任命書の交付及び委員並びに事務局員の紹介を行った。

議事

①会長・副会長の選任

会長に、田中委員を副会長に松島委員を選任した。

②今期の図書館協議会について(コロナ禍以降の豊能町立図書館のあり方について)

事務局 (事務局より説明)

コロナ禍により、図書館の歴史の中で、こんなに長く図書館が閉館する経験がなかった。そのような状況から図書館の運営の仕方に変化してきた。

図書館が利用できないとき、改めて人と人が繋がる場であったと実感する。

世の中デジタル化が進み図書館も例外ではないが、豊能だからできることを大切にしていきたい。

今後の図書館運営について委員皆様のご意見を賜りたい。

委員

従来の延長線上でいいことと、違う視点でやっていくことが必要なものがある。

電子図書はやっぱ避けて通れない課題である。

高齢になっても、1日楽しめるとか、子どもたちが、月1回か週1回図書館のイベントに来れば皆が必ず会えるとか、電子図書についても考えないといけない、これが豊能の図書館の个性的な色合いだというようなものが必要。

図書館に行ったら、何かこういう楽しい企画があるということが必要。

とよのん呼んで、呼び水にして、若いお母さんと子どもが図書館にまた行こう、今度もまたとよのん来るんやったら行ってみようという仕掛けが大切。

SNS(インスタグラム、フェイスブック、ライン)を上手に使うって情報発信をする、また、それを拡散してくれる若いお母さんを協力者としてつくる。

イベントのプラスアルファの部分も活性化して、図書館に行ったら面白いことがあるんだなっていうワクワク感を、利用者さんであったり、住民さんに、インプットしてもらって、何かそれがずっと、持続していったらいいな。

事務局

コロナ禍以前から考えていたことはその居場所で豊能だからできることをしよう。

本を介して人をつなぐ、今や、地域の人と人が繋がってくださっていて、館内に展示をし

てギャラリーも利用者の方のつながりの場となっている。

改めて大事に思ったことは間違いじゃなく今委員の皆様のご意見で背中を押していただいた。

実は春先に電話をくださりまして、フルートの奏者の方が楽器ができるので、図書館で何かお役に立てたらということで、始まりましたのが、音座図書館です。

図書館の職員、実は図書館の運営について、あんまりユニークなこと考えられていないのかもしれない。

電子図書化については、単独では実施できない。

SNSでの発信はすでに実施してもらっている。

③その他（報告）

ア令和4年度図書館利用状況について

イ令和5年度豊能町立図書館の運営について

事務局（事務局より説明）

コロナ禍がちょっと令和3年度よりはマシになりましたよねというところなんですけれども、住民1人当たりの貸し出し冊数10冊超えてきた。

貸出冊数とか貸出人数を数値を見ましたら、コロナの前に戻りつつある。

箕面の図書館の電子図書館の利用数は、箕面で使われている中の7%ぐらいの利用率です。

図書館の運営方針は、豊能の教育、基本指針のところに、図書館についても書いてあるんですけど、豊能町立図書館の運営大きくは、去年とも変えてないですけどもバリアフリー図書館として、誰でも使える図書館をめざすということ。

障害者だけじゃなくって、最近では、少しずつ増えてきている、母国語が日本語ではない方達が、豊能にも少なからず住んでおられるように思いますので、そういう方たちへの支援も必要であるというふうに考えてますので、誰でも気軽に図書館を使っただけできるようしていく。

次は、セット絵本っていうのは子育て支援のところで、以前にもお話をさせていただいたかもしれませんが、赤い袋がカウンターの後ろに見えるんですけども、図書館が、「えほんだいすき」という冊子でおすすめ絵本紹介しているもの、このセット貸出期間は通常2週間のところ、2週間10冊貸し出しとは別個に、1袋4週間、借りていただくような子育て支援サービスである。

また、今年度は、月2回ですけど、子育て支援の場所へ出向いて、アウトリーチサービスをするようなことも考えている。

令和5年度予算の概要説明

委員

豊能は文化度が高いよとかね、みんながとてもそういうことに興味関心ある。うんちく型が好きだと思う、そういう風土、雰囲気、この町あると思う、いろいろな人に会うとね。それは、いいことだと思うのでそれを底上げしていくような、そんな図書館活動があるといいと思う。

町民の4人に1人が、登録してるっていうのは、結構高率ですね。
図書館に行ったら元気になるとか、何かそんなのがいいと思う。

事務局

意識高い方が多いので傘の取り違いが増えてしまいましたとか、行方不明の本が出てきますとか、館内で注意喚起の表示をつけたときに、豊能町においてそういうことが起きているの？ということと言われるご利用様が結構おられる。

豊能の図書館は単に娯楽だけでなく調査研究にもご利用いただいている。

図書館は、図書館を使っただく皆さんによって、作られていくものなので、豊能の図書館は上質なサービスをさせていただいていると思っている。

登録率は、実登録者の率であるので、よいと考えている。

以上